

ホクコーヘルシード® Tフロアブル

■種類名：チウラム・ペフラゾエート水和剤
 ■有効成分：チウラム-----26.0%
 ペフラゾエート-----16.0%
 ■PRTR法指定物質：チウラム [第1種] -----26.0%
 2,6-ジ-ターシャリーブ-フル-4-クレゾール [第1種] -----5.0%

■登録番号：第18274号
 ■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
 ■登録初年：1993.01.22
 ■性状：淡褐色水和性粘稠懸濁液体
 ■有効年限：3年
 ■包装：100 ml×60本、500 ml×20本
 10ℓ×1缶

【特長】

- ばか苗病など種子伝染性病害に効果を示すヘルシードと幅広い殺菌スペクトラムをもつチウラムとの混合剤。
- 糸状菌病害から細菌性病害まで効果を示す。
- 取り扱いやすいフロアブルタイプで、塗沫処理も可能。

【適用内容】 (2014年10月末日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チウラムを含む農薬の総使用回数	ペフラゾエートを含む農薬の総使用回数
稲	ばか苗病 ごま葉枯病 いもち病 褐条病	20倍	浸種前	1回	10分間 種子浸漬	1回	1回
	もみ枯細菌病 苗立枯病 (リゾープス菌) (トリコデルマ菌)	7.5倍 (使用量は乾燥種籾 1kg 当り希釈液 30ml)			種子吹き 付け処理 (種子消毒機 使用) 又は塗沫処理		
	もみ枯細菌病	200倍			24時間 種子浸漬		
	ばか苗病 ごま葉枯病 いもち病 褐条病	原液 (使用量は乾燥種籾 1kg 当り 4ml) 4~7.5倍 (使用量は乾燥種籾 1kg 当り 原液 4ml を希釈して使用)			湿籾に 塗沫処理 乾燥籾に 塗沫処理		

【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきることを。
- 使用前によく振ってから使用すること。
- 種子消毒は浸種前に行い、消毒後は水洗いせずに浸種すること。
- 浸漬処理の場合、籾と処理薬液の容量比は1：1以上とし、種籾はサラン網など粗目の袋を用い、薬液処理時によくゆすること。
- 薬液の温度は極端な低温を避けること。
- 吹き付け処理の場合は種子消毒機を使用し、種籾に均一に付着させて乾燥すること。
また、塗沫処理の場合は、適当な容器内で種籾を攪拌しながら、薬液を滴下するなどして、種籾に均一に付着させること。
- 本剤の処理を行った種籾を浸種する場合は、次の事項を守ること。
 - ◆ 浴比は1：2とし停滞水中で浸種すること。
 - ◆ 水の交換は原則として行わないこと。但し、水温が高い場合など酸素不足になる恐れがあるときは静かに換水すること。
 - ◆ 河川、湖沼、ため池などで浸種しないこと。
- 本剤の処理により、軽度の初期生育遅延を認めることがあるが、その後回復するので通常の管理を維持すること。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 取扱いには十分注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。
本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けること。
- ❖ 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ 使用の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用すること。
作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
- ❖ 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- ❖ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(魚類、藻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、使用残液及び容器の洗浄水等は河川等に流さず適切に処理すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。